

第7回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和7年3月3日(月) 16:30～16:50
場所 県庁12階 特別会議室 災害対策本部総務班

(16時30分開会)

【盛岡地方気象台】

大船渡市赤崎町付近の林野火災に係る気象解説について（資料を基に説明）

【防災課総括課長】

これまでの被害及び対応状況等について 3月3日14時30分現在の状況報告（資料を基に説明）

【総務部】【ふるさと振興部】

大船渡市赤崎町林野火災に伴う職員派遣要請への対応状況等について（資料を基に説明）

【保健福祉部長】

大船渡市赤崎町林野火災に伴う保健福祉部関係の対応状況等について（資料を基に説明）

【商工労働観光部】

大船渡市赤崎町林野火災に伴う商工労働観光部関係の対応状況等について（資料を基に説明）

【陸上自衛隊岩手駐屯地】

本日、自衛隊の大型ヘリ8機により、403回放水をしております。水につきましては、201万5千トンということで昨日比239回プラス、119万5千トンとなっております。

また、明日の予定ですが、同じく、大型ヘリ8機と中型ヘリ3機、また、県庁に航空運用に関するリエゾンを配置し、引き続き皆様と連携していきたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

【総務省消防庁】

本日も関係機関と連携しながら、陸上及び空中からの消火活動等を実施しているところです。本日、火災の状況を踏まえ、神奈川県に対して緊急消防援助隊の出動の求めを行い、体制の強化に努めているところでございます。緊急消防援助隊の規模については、今後約 2,000 名規模で活動を展開し、引き続き、24 時間体制で一刻も早い鎮圧鎮火に向け全力を挙げて対応して参ります。

【達増本部長（知事）】

乾燥は明日まで続くということで、風がときどき変わったりして、赤崎地区の大船渡側の沿岸南方の外口地区の集落の住家まで延焼が及んでおり、建物が多くある地域を守るということが大事な局面になっております。

北東の方の延焼もありますが、そのような状況の中、緊急消防援助隊が更なる増強、また、陸上自衛隊は大型ヘリ 8 機という体制で運用していただいております。大変心強いところであります。

5 日の未明から雪、雨が降る見通しで、そこまでは乾燥が続くということで、さらに大変ではありますが、消火をお願いしたいと思います。

そして、避難者の方々の数が増えており、避難所の運営に、より人手や様々な支援が必要な局面になっています。県としても市町村と協力しながら毎日 4 ～ 7 人の職員を 7 カ所の避難所に派遣して、大船渡市職員の負担軽減につなげていきます。規模が大きい災害になると、被災自治体の行政機能の維持が重要になりますので、大船渡市の行政機能の維持を支援するようにしていきましょう。

一方、ボランティアの方々が活動を始めており、3 月 1 日の卒業式の代休で今日高校生約 100 人がボランティア活動を行ったということは本当にありがたいことです。現地の皆様も本当に頑張ってくださいいておりますので、全国的な支援をいただきながら頑張ってください。

（16 時 50 分 閉会）

※ 第 8 回本部員会議は 3 月 4 日 16 時 30 分に開催する。